

# がん放射線療法看護認定看護師について

がん放射線療法看護認定看護師の江口と申します。  
私は、放射線治療に伴う様々な不安や疑問にお答えし、患者様が安心して治療を受けられるように支援しております。  
また治療による副作用対策を行い、予定通り治療が終了できるよう、院内の様々な医療職者と連携を図り、症状コントロールを行っています。  
今回は、放射線治療を受ける患者様からよく受けます質問に対して、少しお答えさせていただきます。

## 放射線治療 Q&A



放射線を浴びると  
体が弱くなってしまいませんか？

放射線治療の影響で体力や抵抗力が落ちることもありますが、治療の終了とともに元気になってくる患者様がほとんどです。





放射線治療を受けることになりました。自分のせいで、家族も被爆してしまいませんか？

放射線治療は大きく外部照射と内部照射に分けられます。外部照射は体の外から放射線をあてます。その放射線は患者様の体に残ることはありませんので、家族が被曝することはありません。



放射線治療をすることで、髪の毛は抜けますか？

照射野に頭部が含まれていれば、髪の毛は抜けます。放射線をあてる線量によりますが、一般的に治療終了後に再び髪の毛は生えてきます。また照射野に頭部が含まれていなければ、髪の毛が抜けることはありません。





放射線治療をすすめられました。  
予後が悪いからでしょうか？

病気の部位や性質、患者様の全身状態によっては手術や抗がん剤治療より、放射線治療をすすめられる場合があります。放射線治療をすすめられた＝予後が悪いということではありません。



放射線治療は痛かったり  
熱かったりしますか？

ごくまれに、放射線をあてている時にビリビリとした違和感を訴える方もいますが、ほとんどの患者様は照射されている時に痛みや熱さを感じることはありません。





放射線をあてることで、逆にがんになることもありますか？

過去に放射線治療をしたことが原因で、数十年経ってから、がんになる方もいます。  
もし、がんを放置していたら、確実に病気は全身に広がり、命に関わってきます。  
放射線治療はがんの細胞を消滅させるために、最適な量をあてています。  
治療を行ったほうが患者様にとって有意義であると判断された場合、放射線治療はすすめられます。

